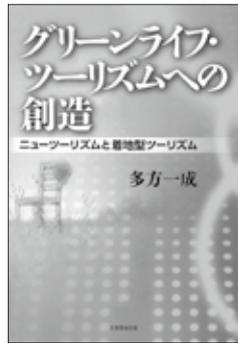




新着図書紹介

本書『グリーンライフ・ツーリズムへの創造』は、人にも本来備わっているゆつくりした時間軸で過ごすツーリズムの形が、著者の豊富なワールドワークから紹介される。グリーン、エコ、ヘルス、ウォーキング、フード、ワインなど、多様な着地型の取り組みへの言及は、ツーリズムのベースが、古い「見る・食べる・遊ぶ」から新しい「るるぶ（学ぶ・体験する・つながる）」へ移行しつつあることを示唆している。専門家には分野の整理に、旅行者にはライフスタイルに合うツーリズムを知るヒントにもなりそうだ。「グリーンライフ・ツーリズムがしなやかに地道にかつ



A5判 200ページ
定価 1,900円
芙蓉書房出版

身の丈に合った形で個々のライフスタイルに結びつき、近い将来には社会全体として持続可能なツーリズムの定着になることを期待してやまない」と綴られたあとがきには、著者の思いが凝縮されている。(片桐)

「観光地域ブランド確立支援事業」を展開する観光庁は、目指すべき地域の将来像の策定やマーケティングなどによるブランド戦略の構築と、それに基づく滞在プログラムの実施に際しての課題解決や魅力の向上を図る事業を通じ、地域独自のブランド確立を目指している。国内外から選好される国際競争力の高い観光地域づくりに、地域独自のブランド確立が必要不可欠であることは言うまでもない。本書『現代の観光とブランド』(大橋昭一編著、同文館出版)は、地域を訪れる観光客の満足度が高ければ、リピーター化や知人などへの推奨といったファンの行為につながり、観光地のブランド力は高まると指摘する。ブランド力を決めるのは消費者であるという認識をベースに、和歌



A5判 212ページ
定価 2,300円
同文館出版

山大学観光学部で教育と研究に携わる複数の執筆者らがさまざまな視点から論点を提示する本書は、観光ブランドの啓蒙書と呼ぶにふさわしい力作だ。(挑全)

利用状況

ベストリーダー (2013年2月～2013年4月)

当図書館への来館者によく閲覧されている本を紹介。

【旅行ガイドブック部門】

海外旅行では、

- ・『地球の歩き方シンガポール2013-14』(ダイヤモンド・ビッグ社)
- ・『地球の歩き方タイ2012-13』(ダイヤモンド・ビッグ社)
- ・『地球の歩き方イスタンブールとトルコの大地2012-13』(ダイヤモンド・ビッグ社)

国内旅行では、

- ・『るるぶ冬の北海道2013』(JTBパブリッシング)

【一般読み物部門】

- ・『LCCで行くぶらり格安世界の旅』(下川裕治著、PHP研究所)
- ・『旅行完全ガイド 格安航空券辛口ランキング100 12-13年最新版』(晋遊舎)
- ・『京都ゲストハウス案内』(アリカ編著、光村推古書院)

館長のつぶやき

この4月から、非常勤の館長を務めることとなりました。30年以上の歴史ある図書館に関わることができ、感慨深いものがあります。デジタル化が進む現代ですが、本が有する威圧感に圧倒されています。

ここ数年、一般の方に加え、観光の専門家や観光を学ぶ学生の利用促進を目指し、論文や大学紀要等の学術書、研究に資する図書や資料などの入手にも力を入れています。用途に合わせて図書館をご利用いただけますと幸いです。

特別展示のご案内

聖地をめぐる旅

2013年7月1日(月)～2013年8月30日(金)

聖地をめぐる旅に注目が集まっています。もともと聖地は“巡礼”という形で旅と深く結びついたものであり、古くは「おかげ参り」(お伊勢参り)や「熊野詣」といった集団参詣が歴史的にも有名ですが、近年では「パワースポット」と呼ばれる“場”や、格が高いとされる「一の宮」などの神社を訪れる人も増えています。特に今年は伊勢神宮における62回目の式年遷宮と、出雲大社における60年ぶりの平成の大遷宮が重なる年であるため、聖地に対する人々の関心はさらに高まっているようです。

観光研究の分野でも、近年、聖地をテーマに取り上げた研究が数多く発表されています。“ツーリズム化=商品化”される聖地、聖地を見つめる旅行者のまなざしの変化、アニメの舞台を“聖地”と名付けてめぐる人々など、現代における“聖地をめぐる旅”について、さまざまな切り口から研究が進んでいます。

そこで本展では、「聖地をめぐる旅」をキーワードに、国内外の聖地を訪れる旅行ガイドブックや聖地に関する研究図書等、さまざまな資料を展示します。なぜ人は聖地に引きつけられるのでしょうか、聖地を支える力(聖性)は観光においてどのような意味を持つのでしょうか。ぜひ多くの方が当館を訪れ、その答えを考える機会にさせていただきたいと思えます。

*詳細は、ホームページ<http://www.jtb.or.jp/>へ。旅の図書館特別展示で検索